



BNE校だより



# 南十字星

2016年度  
第2号

クイーンズランド補習授業校  
校長 清村幸一

## インドロピリーの中庭にかわいい「鯉のぼり」

今年は例年より暑い…そんな声がよく聞かれる5月です。今オーストラリアは秋。日本で言えば、「秋深き となりは何を する人ぞ」という季節ですが、日中はまだまだ日差しが強く 28℃~29℃です。

そんな中でも子どもたちは元気に登校しています。5月7日に、「こどもの日集会」を実施しました。

まず中学部3年生の柏木真椰さんが、5月5日にちなんだスピーチをしました。(次ページに内容掲載)次に私から、「爽やかなあいさつにあふれたブリスベン校にしましょう。」と提案し、実際にあいさつを練習してみました。子どもたちは素直に反応してくれ、テントが揺れるくらいの元気な声が出ていました。

集会の最後には、みんなで「こいのぼり」を歌いました。今回はトランペット(フリューゲルホーン)で伴奏しましたが、みんなの歌声は、「広場のテントより高く」響きました。今年一年、ブリスベン校のみんなが元気にすくすくと育つよう祈っています!

### 授業参観と保護者会総会

5月21日には、授業参観、そして保護者会総会を下記の日程で計画しています。

授業参観	9:10~9:50
保護者会総会	10:00~

多数の保護者の皆様の来校をお待ちしています。



### 6月4日理科学習日

理科は準備や後片付けの関係で、45分授業となっております。

5校時	12:55~13:40
6校時	13:45~14:30

子供たちも楽しみにしています。

**お願い** クイーンズランド補習授業校の【学校での決まり】として、次の約束事があります。再度、ご確認ください...

1. 教科書、ノート、筆記用具はいつも持参し、宿題などの提出物を確かめて登校しましょう。
2. 食べ物は持って来ません。飲み物は水筒に水かお茶を入れましょう。
3. 学習にふさわしい服装で登校しましょう。
4. 必要以上のお金や貴重品は持って来ません。
5. 学校の前は大切にしましょう。
6. 友達や先生にあいさつをしましょう。
7. 時間を守りましょう。
8. 携帯電話はカバンに入れ、放課後までは触りません。

### ブリスベン校の校章



この便りの表題に今回から登場したのは、JCB理事会で決定したBNE校の校章です。

コンセプトは、日本を象徴する桜とその葉を全面に用いて、品位や実力を印象づけるデザインになっています。5枚の桜の花びらは、それぞれの生徒を意味し、各花びら中央の芯は精神を意味しています。各花びらの間にある葉は、教員・保護者・地域の人々など、生徒の健やかな成長を支える人々を意味します。ロゴ中央には、日の丸の中にクイーンズランド州の地形が描かれています。地域社会の中で、日本人として生き、その品位と実力を育てるという思いが込められています。今後、様々な機会を使っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

# 海外子女文芸作品コンクールのお知らせ

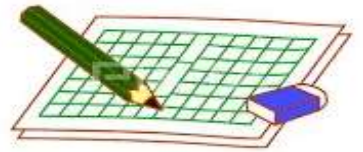
海外子女振興財団主催第37回海外子女文芸作品コンクールの案内をします。募集要項は海外子女教育振興財団のホームページをお読み下さい。昨年も私たちの補習校から入賞者を出しましたが、今年も入賞できるように皆さんの力作を楽しみにしています。補習校での締め切りは、1学期終業式の6月25日です。

整理後すぐに東京に送らなければなりませんので、締切日以後のものは残念ながら受付できません。

テーマは、海外生活を題材にしたものであれば自由で、ジャンルは、作文、詩、短歌、俳句の4部門です。ひとりで何部門でも応募できますが、作文と詩はひとり1点、短歌と俳句は一人3点以内です。作文の枚数は、小学生が原稿用紙5枚以内、中学生が8枚以内です。詩は小中ともに3枚以内です。

補習校からは作文用原稿用紙(財団名が中央に縦に書かれている原稿用紙)と詩用(財団名が右下に横に書かれている原稿用紙)を各1枚と各部門応募用紙を配布します。不足の用紙は、海外子女教育振興財団のホームページからダウンロードして下さい。URLは、<http://www.joes.or.jp/bungei> です。

短歌と俳句は、所定の応募用紙に書いて下さい。作文と詩には、応募票を原稿用紙の右上にホッチキスで留めて下さい。提出の際はコピーを必ず自分で取っておいて下さい。入賞した場合には、「南十字星」用に原稿の提出をお願いする予定です。(幼稚部の募集はありません。)



## 全校朝会のスピーチから

4月30日【中3 柏木真椰さん】

皆さん、おとといは何の日だったか知っていますか。5月5日はこどもの日です。こどもの日はゴールデンウィークの一つの祝日です。

古来、5月5日は『端午の節句』(たんごのせっく)といって、男の子の健全な成長を祝う日でしたが、1948年に定められた国民の祝日法(しゅくじつほう)によって『こどもの日』となり、子供の人格を重んじ、子供の幸福を図るとともに、母に感謝する日として定められ、国民に広く親しまれるようになりました。

昔は『端午の節句』の日だったので、その色が濃く残り、現在でも男の子がいる家では、カブト、こいのぼり、五月人形を飾ります。兄弟姉妹のいる家庭では一緒にお祝いをするのが一般的になっており、さらに女の子だけの家庭でも最近はこのぼりを飾ったりするようです。

皆さんはどうやってこどもの日を過ごしましたか。これで私の話を終わります。

## 図書購入のお知らせ

BNE校では、今年200冊ほど  
図書を購入する予定です。



今年度中に子供たちの手に届くためには、できれば1学期中には推薦図書を定め、発注の準備をしたいと考えております。

つきましては、まず文部科学省や書店等の推薦図書から購入リスト作成します。併せて、保護者の皆様からも希望図書を募集し、お寄頂いた図書も考慮に入れ、最終的に購入リストを確定します。

皆様には、後日保護者会を通じて希望図書を募りますので、ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

## おわれてみたのは・・・

プリスペンの夕焼けはきれいです。  
きっと空気が澄んでいるからでしょう。  
ところで、夕焼けと言いますと、私は「赤とんぼ」を思い出します。「夕焼け小焼けの赤とんぼ おわれてみたのはいつの日か」・・・作詞は三木露風です。露風は小さい頃、祖父に育てられていましたが、実際には子守をしてくれる姐や(ねえや)に面倒を見てもらっていました。ですから、歌詞の「おわれてみたのは」は「追われてみたのは」ではなく、「負われてみたのは」であり、姐やの背中におんぶされて肩越しに見た夕やけという意味です。他にも、「夕やけ小焼けで日が暮れて・・・」など、日本にはいい歌がたくさんありますね。

